



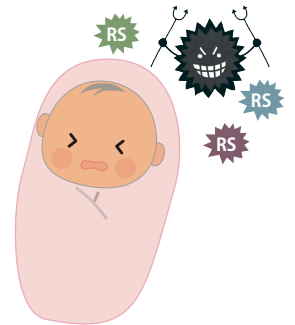
シナジス接種について

シナジスとは

RSウイルス感染症を予防するための注射薬で、ウイルスに対する抗体製剤です。接種後この抗体は体内に入ってきたRSウイルスに結びつき、体の中でウイルスが増殖するのを防ぎます。よって、感染を完全に予防する事は難しいものの、**重症化を予防する事が期待できます。**

RSウイルスとは

乳幼児に呼吸器感染症を起こす**主な原因ウイルス**で、以前は冬季をピークに秋から春にかけて流行していましたが、ここ数年は流行時期が変化し、**夏頃から始まり9月にピークを迎えるようになりました。**



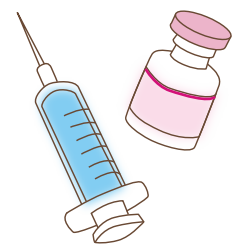
RSウイルスに大人が感染した場合は、いわゆるかぜ症状で治ることが多いのですが、乳幼児に感染すると、当初は鼻水、咳などの軽い症状から始まるものの、その後気管支炎や肺炎に発展し、急激に呼吸状態が悪くなる場合があります。重症なケースでは入院や人工呼吸管理を必要とする事もあります。

中でも、早産児、生まれつき呼吸器や心臓に病気を持っている赤ちゃんが感染すると重症化することが多いと言われており注意が必要です。

また、RSウイルス感染症には有効な治療がないため、予防することがとても大切になります。

シナジスの接種方法・期間、接種対象者

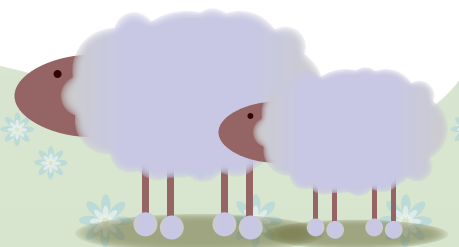
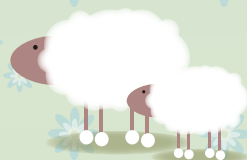
RSウイルスの流行期間中、月1回を目安に継続的に投与していきます。というのも、シナジスは抗体製剤のため、一度接種しても時間が経過すると体内でお薬の成分（抗体）が少なくなってしまうためです。よって繰り返し投与する事で、体内での抗体を維持し、予防可能な状態にしておく必要があります。



接種部位は太ももで筋肉注射となります。接種量は体重に応じて調整します。接種期間について、以前は9月～3月までとしていましたが、ここ数年の流行状況の変化を踏まえ、**当クリニックでは2020年からシナジス接種期間を7月～2月に変更することにしました。**適切な時期から接種を開始することで、より有効な予防が可能だと考えています。

一方、シナジス製剤は高価なお薬であるため、現時点では、希望される方全員に接種する事は難しく、保険適応になる方々を中心に行っています。（次のページ参照）

>> 裏面へつづく





シナジス接種について

●●● シナジス接種の対象となるお子さん ●●●

① 早産児

- ・在胎28週以下で出生し、RSウイルス流行開始時に12か月齢以下の赤ちゃん
- ・在胎29～35週の出生で、6か月齢以下の赤ちゃん

② 慢性の肺疾患を持つ24か月齢以下の赤ちゃん

③ 血行動態(心臓や血流)に異常のある先天性の心疾患を持つ24か月齢以下の赤ちゃん

④ 免疫不全を持つ24か月齢以下の赤ちゃん

⑤ ダウン症候群の24か月齢以下の赤ちゃん

※ 適応について詳細を確認されたい場合はお問い合わせ下さい。



シナジスの副作用

シナジスの主な副作用として、発熱、注射部位の腫れ・痛みがあります。また頻度は多くありませんが神経過敏症(冷や汗、全身の蕁麻疹、嘔吐など)を認める事もあります。



ワクチン接種との併用について

シナジスを注射していても、ワクチンは予定通り接種していただけます。また両者を接種する場合、接種間隔を開ける必要がなく、同時接種も可能です。

例えば、9月5日にヒブと肺炎球菌に加え、シナジスの同時接種も可能です。また9月5日にヒブ・肺炎球菌を接種し、翌日の6日にシナジスを接種して頂く事も可能です。



ご予約方法など

まずはお電話にて接種のご希望をお伝えください。その際、保険適応で接種が可能かどうかの確認をさせていただきます。適応者と判断した場合、まずは医師の診察を受けていただく必要がありますので、外来の予約をお取りします。

外来受診時には、診察、体重測定などを行い、シナジスに関する説明、また接種対象であるかどうかの確認を再度行い、実際の接種日などをご相談します。

※特殊なお薬になりますので、ご予約後に取り寄せいたします。

事前連絡による接種日時の変更は可能ですが、接種自体のキャンセルはいたしかねますので、ご理解の程よろしくお願い致します。

自由が丘メディカルプラザ2 小児科

2020年6月16日
日本小児科学会認定専門医
坂本 真保

